

企画展

—あの時代を思い出す—
なつかしの映画ポスター展

映画がもっとも輝いていた頃、みんなが夢中になったあの名作、昭和の時代に活躍した銀幕の大スターに会いにきてください。

と き 2月11日(祝)～3月21日(祝)

ところ 特別展示室

入場料 無料



ミニ展示
「ひなまつり」

七段飾り・御殿飾りなど、昔のおひなさまを展示します。

と き 1月29日(土)～3月6日(日)

ところ 1階ロビー

★県内博物館を巡るひなまつりスタンプシールラリーに参加しています。



感謝です。
深海魚と言えば、昨年はコロナ禍で

「おい獲れたから受け取りにおいでよ、今から帰るでな」という連絡が海上の漁師さんから入ると、夜中でも若いスタッフが主となり準備をして港にすっ飛んで行きます。超特大タカアシガニが来たり、全国で竹島水族館でしか展示していないというような超貴重深海生物も多いので楽しみであり、いつも水族館を気にかけてくれる気さくな漁師さん達に大



珍しすぎる生物も続々展示中です！

竹島水族館
Aquarium
☎ 68-2059

館長の
ひなまつり



小林龍二

寒くなってくると常に水を扱う我々の仕事はとて辛く切なくなるのですが、代わりに形原と西浦の凄腕漁師さん達の協力によって、深海の生き物が続々とやってくる季節でもあります。実は、真冬は深海魚シーズンです。海の表面温度が下がり、海の温度と同じくらいになるため、船上上がり水族館にやってくるまでのダメージが少なくなるのです。「おい獲れたから受け取りにおいでよ、今から帰るでな」という連絡が海上の漁師さんから入ると、夜中でも若いスタッフが主となり準備をして港にすっ飛んで行きます。超特大タカアシガニが来たり、全国で竹島水族館でしか展示していないというような超貴重深海生物も多いので楽しみであり、いつも水族館を気にかけてくれる気さくな漁師さん達に大感謝です。深海魚と言えば、昨年はコロナ禍で